

**異業種交流セミナー**  
**「東京室内装飾事業協同組合加工部会との交流セミナー」**

7月30日 東京都高齢者就業センター（シニアワーク東京）

TDA交流担当 小沼 協力 広報 杉山 参加者 約50名（東装協18名、TDA会員・賛助会員30名）

東装協加工部会では「理想的なカーテンのあり方」の研究のため異業種交流を続けており、この一環として、TDAのファブリックスのデザインを手掛ける企画、デザイン関係者よりカーテンファブリックスをどのような背景や意図で企画、制作しているかの話を知りたいとの申し入れがあり交流セミナーと懇親会を行うことになった。カーテンの企画に携わっている人は多く、企業のポジション

グや特性によって異なっており、バラエティーに富んだ5名のパネリストと少し欲張ったため、後の方の人には時間がなく尻切れトンボになってしまったが、東装協加工部会の人達だけでなく、TDA内の参加メンバーにも参考となるが多かったという感想でした。進行は交流の小沼氏。



中央 肥田氏、その向かって左隣り大森氏、右隣り杉山氏



中央 須藤氏、向かって右隣り今野氏

**【5名のパネリストと講演概要】**

●杉山 哲三（株）セルコン開発担当）

大手企業の部類として、全国ネットでより多くの顧客をターゲットにファブリックスのコレクションをオーダーブックというシステムで販売。組織的なモノ作り、又、モノ作りのプロセスとカーテンスタイルや縫製加工、仕様のかかわりを説明。

●肥田真理子（元・マナトレーディング開発部）

マナトレーディング社に在籍中、ヨーロッパのトレンドを捉えながら、ヨーロッパの中でもユニークなファブリックスを主としてコレクション。これらの縫い難くそうなサンプルを紹介しながら、素材感や質感に対する氏の想い入れやこだわりを含めて、ヨーロッパのテキスタイルのトレンドを説明。

●今野 文雄（コンノ・デザインスタジオ代表）

企画会社として、大手のインテリア企業をクライアントに。このクライアントにどう企画、デザイン、試作までの具現化をするか、企画の組み立ての仕方や切り口などの具体的な例を説明。

●須藤 玲子（株）布 取締役）

インテリアやカーテンファブリックスにこだわらず布という発想で六本木アクシスに「布」の店を運営。布を作るだけでなく、建築家やインテリアプロデューサーとタイアップして布を使った空間演出を紹介。既成概念にとらわれない新しい（実は古い歴史の中にヒントがある）布の使い方は一般的なカーテンの概念を越えて参加者に新たな印象を与えた。

●大森 克夫（株）インテリア・リド代表）

ファブリックスの企画・デザイン～モノ作りの超ベテランであるが、永く学校で教えているという一面を覗かせ、カーテンの素材別の特性、特に縫製加工の難しい新合織の特性について解説。時間の都合で準備載いた全ての説明ができませんでした。

終了後、1Fのレストランに場を移し懇親会を開催。普段、デザインや企画の活動が中心のTDAのメンバーにも縫製加工の方々と交流できたことは大変良かったとのこと。一回だけで終らず次回加工部会の人にレクチャーしてもらい意見を交わすことで、とかく低価格や価格サービスに片寄り、低迷するカーテンマーケットの打開策を見いだせるのではないかとと思われる。次回への期待を残して終る。

（レポート 杉山 哲三）